



令和5年度

# 上富良野小学校

## 校内研究・研修

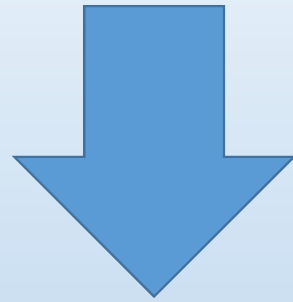
### 提案

# 本日の内容

1. これまでの校内研修・研究について
2. 今年度の校内研修・研究について
3. 校内研修の進め方について

# 1. これまでの校内研修・研究について

# 上小の研究の特徴



「研修を兼ねる研究」へ

教員の指導力向上

児童の学力向上

## 令和3年度 研究主題

粘り強く考え よりよいものをつくりあげる 上小っ子の育成  
～国語科を通して～

目指す子ども像①

課題に粘り強く向き合う子

資質・能力①

見通す力

目指す子ども像②

よりよいものを作り上げる子

資質・能力②

読解力・表現力

重点！

## 令和4年度 研究主題

ゴールを見据えて 考えを伝え合う 上小っ子の育成  
～算数科を通して～

目指す子ども像①

ゴールを見据えて  
学習に取り組む子

資質・能力①

自己調整力

目指す子ども像②

問題の本質を捉え  
自分の考えを表出する子

資質・能力②

読解力・表現力

## 【令和4年度の成果】

- ふりかえりシートを活用することで、単元中の学習状況や身についたこと、自分の学びを確かめながら学習することができた。
- 学年の実態に応じて振り返る視点を示しているのがよかった。
- 問題文の言葉や数字に線をひいて注目させることで、見通しをもって個人思考ができるようになった。
- 説明の場面の手立てを考え、工夫することで成果がでてきている話型の提示

(分析結果・アンケートより)

## 【令和4年度の課題】

- ・自己調整力の押さえが曖昧だった。
- ・読解力・表現力の見取りが難しい。
- ・学校全体としてのゴールが漠然としていた。
- ・テスト結果からは、改善傾向は見られない。

## 【その他】

- ・振り返りの視点を統一できたら、学年が上がっても困らないのではないか
- ・R2年次の「他教科への活用」という面。

(分析結果・アンケートより)



## 2. 今年度の校内研修・研究について

## ～上小の児童の実態～

- ・自分で考えて表現する力が足りない。
- ・言葉を知らない、表出が苦手。
- ・ヒントや見通しが無いと考えられない。
- ・四則計算の能力に欠ける。
- ・問題をイメージする力が足りない。
- ・日常の経験が足りない。
- ・ICT操作の差が大きい。

令和5年度 研究主題

# 児童一人一人が 学び合い 高め合う 上小っ子の育成

目指す子ども像①

自ら決定し、やり抜く子

資質・能力①

自分の学び方、学ぶ内容を選べる力

実践①

個別最適な学び

目指す子ども像②

自分と他者の考えの違いや、良さに気づく子

資質・能力②

お互いに支え合い、話し合って学習する力

実践②

協働的な学び

# 令和の授業デザインとして求められているもの



## 多様性を重視した教育・人材育成

### ICTの有効活用

#### 個別最適な学び

指導の個別化・・・すべての子がその子に合った方法で、その子に合った目標を達成できるように指導すること。

学習の個性化・・・どの子も自分の興味・関心に合った学習を行ったり、自分に合ったアウトプットの方法で表現したりすること。

#### 協働的な学び

ICT端末を活用して、同じ学年、同じクラスに限らず、異なる学年の生徒や地域の人などと情報を共有しながら、ともに学び、主体性を育むこと。

## 【実践①】

# 個別最適な学びの進め方

### 完全習得学習（マスタリーラーニング）

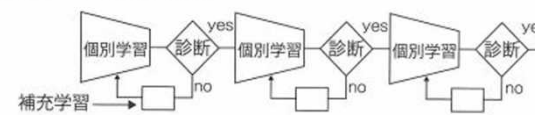
☆一斉指導を補足する個別学習



- ・ 1 単位時間、または、2～3 時間、小単元で行う
- ・ 授業の前半は一斉指導。小テスト、問題などで診断。  
ねらいに到達した子→発展・習熟 不十分な子→補充  
(「個別最適な学び×協働的な学び×ICT入門」より)

### 自由進度学習

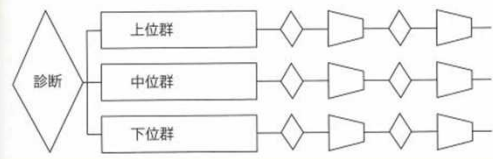
☆自分のペースで進める学習



- ・ 診断は教師、または自己採点。
- ・ 課題ができたら、次へ進む。
- ・ できなかった場合は補充学習をしたり、再度課題に取り組む。  
(「個別最適な学び×協働的な学び×ICT入門」より)

### 到達度別学習

☆到達度に応じたグループをつくり、それぞれに合わせた学習を行う。



- ・ 2つ、3つの小集団を形成し、学習する。
- ・ いわゆる、少人数指導で行う。  
(「個別最適な学び×協働的な学び×ICT入門」より)

### 課題選択学習

☆自分の学習スタイルや興味関心に合わせて学習する。

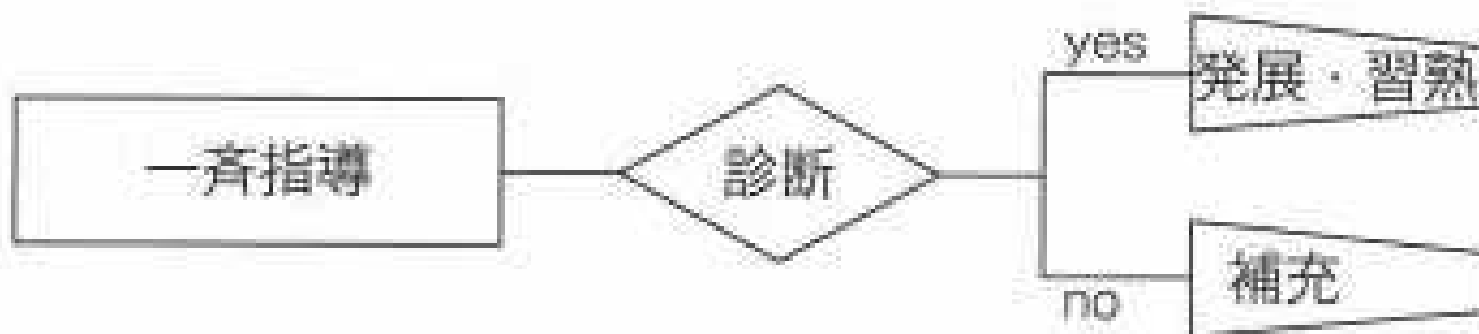


- ・ 一斉指導ののちに学習方法や学習内容別に行う。
- ・ 小単元、単元レベルで行う。  
(「個別最適な学び×協働的な学び×ICT入門」より)

(「個別最適な学び×協働的な学び×ICT入門」より)

# 完全習得学習（マスタリーラーニング）

☆一斉指導を補足する個別学習

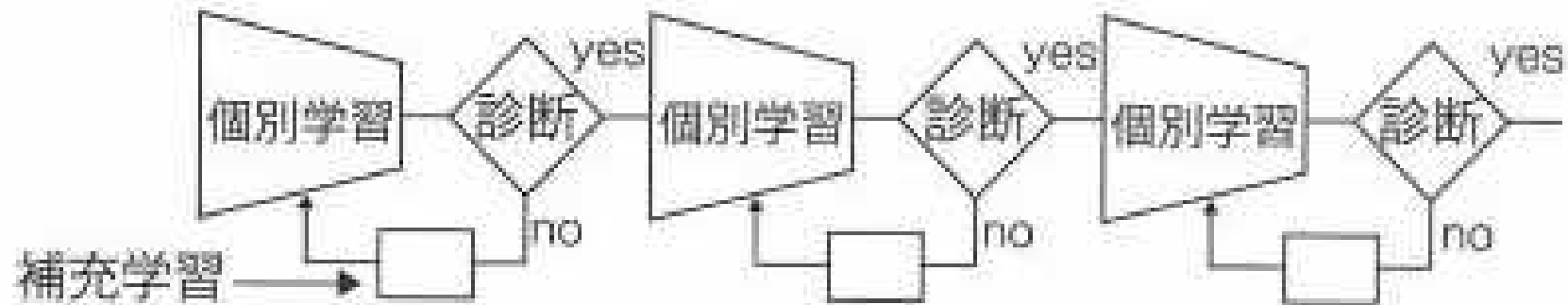


- 1 単位時間、または、2～3 時間、小単元で行う
- 授業の前半は一斉指導。小テスト、問題などで診断。  
ねらいに到達した子→発展・習熟 不十分な子→補充

（「個別最適な学び×協働的な学び×ICT入門」より）

# 自由進度学習

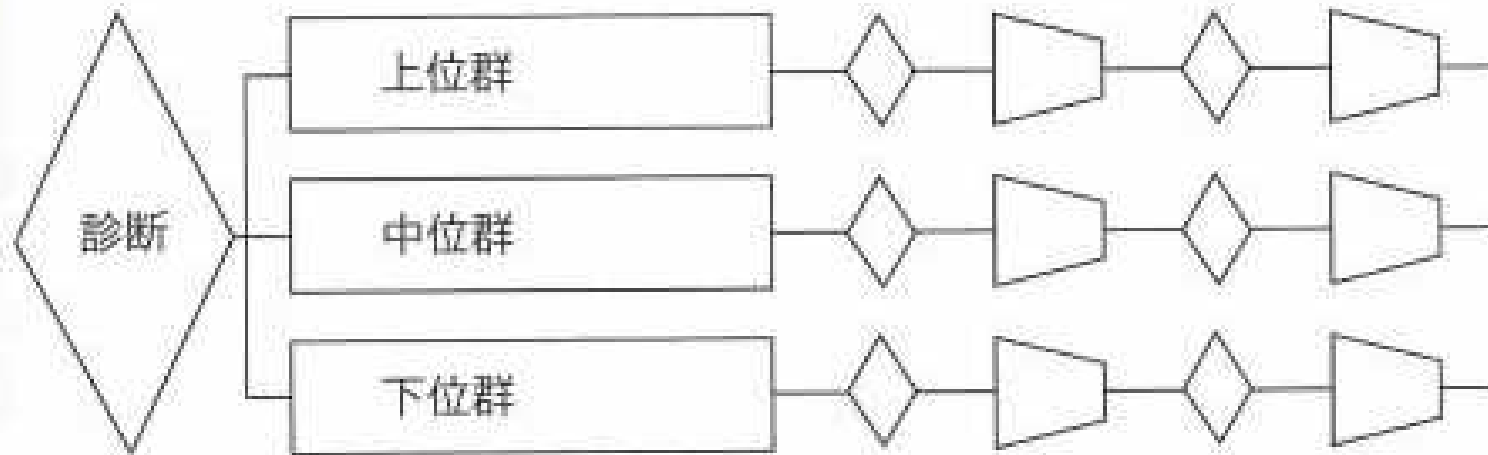
☆自分のペースで進める学習



- 診断は教師、または自己採点。
  - 課題ができたなら、次へ進む。
  - できなかつたら場合は補充学習をしたり、再度課題に取り組む。
- (「個別最適な学び×協働的な学び×ICT入門」より)

# 到達度別学習

☆到達度に応じたグループをつくり、それぞれに合わせた学習を行う。



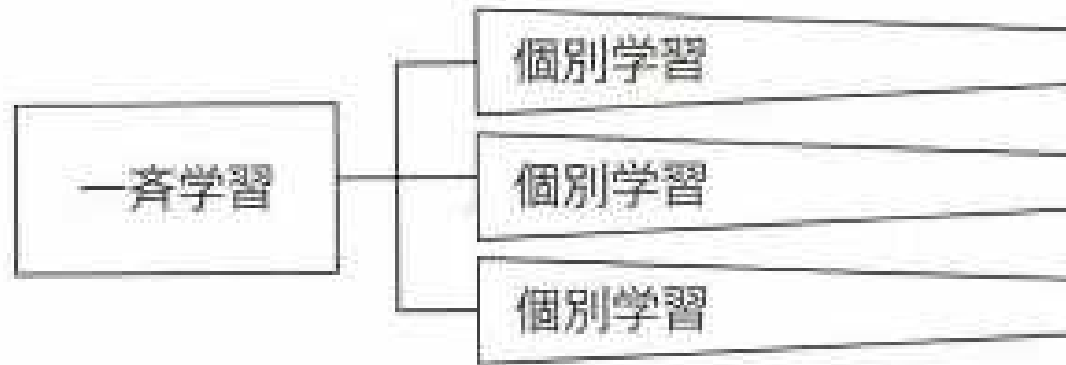
- 2つ、3つの小集団を形成し、学習する。
- いわゆる、少人数指導で行う。

(「個別最適な学び×協働的な学び×ICT入門」より)



# 課題選択学習

☆自分の学習スタイルや興味関心に合わせて学習する。



- 一斉指導ののちに学習方法や学習内容別に行う。
- 小単元、単元レベルで行う。

(「個別最適な学び×協働的な学び×ICT入門」より)

# 個別最適な学習を進める上で…

- 見通しを持たせること。
  - 自分の学習の進み具合をメタ認知しながら進められるようにすること。  
⇒振り返りシート等の活用の継続
  - 誰が「最適にするのか？」→「子どもが」という視点をもつこと。
  - 多様なやり方を教師が提示して、子どもが経験を重ねること。
- 
- 定められた内容を学習するだけではなく、自分の疑問を追求したり、何かをつくったりすることは、より自分らしい「学び」である。

(「個別最適な学び×協働的な学び×ICT入門」より)

【実践②】

# 協働的な学習とは



・「子どもたちがお互いに支え合い、話し合いながら学習すること」



・構成的「協働的な学び」と非構成的「協働的な学び」の使い分け

・「ICTを活用することで、他の人の考えを簡単に知ることができる。」

(「個別最適な学び×協働的な学び×ICT入門」より)

# 考えられる取り組み例

## 目指す子ども像①

「自ら決定し、やり抜く子」について

- ・ ICTの活用
- ・ 学習計画表から見通しをもつ
- ・ 学習ツールを選べる環境
- ・ 習熟度別問題
- ・ 自由進度学習（1時間内・単元内など）
- ・ （AIドリル）

# 考えられる取り組み例

## 目指す子ども像②

「自分と他者の考えの違いや、良さに気づく子」について

- ・ ICTの活用
- ・ 交流の工夫
- ・ グループ・ペアの交流
- ・ 誰もが交流がしやすい雰囲気作り

# 土台が大事！ = 基礎・基本の定着

## 【基板】

- ◎単元計画の工夫(変容の見取り=評価まで)
- ◎課題、まとめ、振り返り
- ◎ゴールの設定
- ◎児童どうしの対話

やってください！

## 【基礎・基本】

- ・計算トレーニング
- ・レディネステスト
- ・学び直しの活用
- ・家庭学習(授業との連携)
- ・練習問題の時間の確保
- ・プレテスト
- ・マナビーランドの活用

基礎・基本を身につける手立て

### 3. 校内研修の進め方について

# 研修のやり方

## 三二研

(研究係から依頼)

内容

今年度はICTの内容を中心に計画中

10分間

研修日

開始 14:30  
(14:40)

終了 15:30

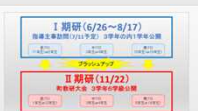


# 校内の研究・研修は4種類

## ①公開授業 ②うきうきウォッチング

### ①公開授業

- 学年で授業を実践する。
- 単元で行う。(本時のみではない)
- 指導案を作成する。
- 評価・分析まで行う。
- 事前・事後にブロックで検討を行う。
- 参観はブロックの内を中心に。時間が合えば、ブロック外の人も参観に行きましょう。



### ②うきうきウォッチング (旧:自主授業)

～あっちこっちそっちこっちいともよ～

- 学級で授業を実践する。
- 本時案(略案)は無し! (作ったものがある人はぜひ共有を!)
- 教科の限定は無し!
- 事前・事後の検討は無し! (希望があれば行います。)(お礼は大事!)
- 参観は自由。
- ぜひ、他教科でも個別最適・協働的な学びを!
- 研究係もしくは誰かに「見せてくれるかな?」と言われたら、ぜひ快く「いともよ～」と仰ってください。

## ③三二研

## ④実技研

### ③三二研 ④実技研

#### 三二研

①  
(4/14)  
藤井Yによる  
Teamsの使い方

②  
(5/12)  
L-Gate、メクビットの  
使い方(未定)

③  
(6/23)

④  
(11/10)  
前期を終えて、  
ICTの活用速紹介

#### 実技研

実技研修  
(8/16)  
※職員会議後  
1時間程度を予定  
昨年はTeamsの使い方

# ①公開授業

- 学年で授業を実践する。
- 単元で行う。（本時のみではない）
- 指導案を作成する。
- 評価・分析まで行う。
- 事前・事後にブロックで検討を行う。
- 参観はブロックの内を中心に。時間が合えば、ブロック外の人も参観に行きましょう。



# I 期研 (6/26~8/17)

指導主事訪問(7/11予定) 3学年の内1学年公開

低ブロ  
(1年生)or2年生

中ブロ  
3年生or4年生

高ブロ  
(5年生)or(6年生)



ブラッシュアップ



# II 期研 (11/22)

町教研大会 3学年6学級公開

低ブロ  
1年生or(2年生)

中ブロ  
3年生or4年生

高ブロ  
5年生or(6年生)

## ②うきうき ウオツチング (旧：自主授業)

～あっち こっち そっち こっち いいとも♪～

- 学級で授業を実践する。
- 本時案（略案）は**無し**！（作ったものがある人はぜひ共有を！）
- 教科の限定は**無し**！
- 事前・事後の検討は**無し**！（希望があれば行います。)(お礼は大事！)
- 参観は自由。
- ぜひ、他教科でも個別最適・協働的な学びを！**
- 研究係もしくは誰かに「見せてくれるかな？」と言われたら、ぜひ快く「いいとも～」と仰ってください。

# ③ 三二研    ④ 実技研

## 三二研

①

(4 / 14)

藤井Tによる  
Teamsの使い方

②

(5 / 12)

L-Gate、メクビットの  
使い方(未定)

③

(6 / 23)

④

(11 / 10)

前期を終えて、  
ICTの活用述紹介

## 実技研

実技研修

(8 / 16)

※職員会議後  
1時間程度を予定

昨年はTeamsの使い方

# ご静聴ありがとうございました。

難しいからやめよう、不安だからやめよう、そうしていればたしかに  
リスクは回避できるかもしれない。でも、決して前には進めない。

栗山英樹 著「未徹在」より



みんなで楽しく、何か一つでも  
研究やってよかったと思える  
1年にしていきましょう！！

## 【単元計画のデザイン (P)】

- ・ 児童の実態把握
- ・ 大課題の設定
- ・ 言語活動の選択
- ・ 変容を見取る場面（評価場面）の設定

## 【授業実践 (D)】

- ・ 課題，まとめ，振り返り
  - ・ 評価場面の明確化
  - ・ 目的に応じた言語活動
  - ・ 児童間の対話
- ※児童間の対話については，コロナの関係上，一斉スタイルの中で行うことを意識する。

**PDCAサイクルで  
授業改善！**

## 【改善 (A)】

- ・ 効果のあったことを次に生かす。
  - ・ 変容が見られなかった要因を調べ改善する。
- ※次の単元につなげ，スパイラルアップさせて，継続的に授業改善を行っていく。

## 【評価・分析 (C)】

- ・ 「見通す力」「読解力・表現力」
  - ・ 「単元の中で身に付けさせたい力」
- ※研究に関わる側面と単元に関わる側面の両面を評価し，どう変容しているかを分析する。

## 平成30年度 研究主題

「みんなに伝えよう！」楽しく主体的に学び合う上小っ子の育成  
～思考力、判断力、表現力を育てる算数科の言語活動を通して～



### 【課題】

- ・問題文の意味を理解できない。
- ・言語での表現が苦手。
- ・自分の課題にじっくり向き合うことができない。
- ・仮説検証型から日常改善型へ。
- ・研究内容の縛りが強い。

日常化



令和元年度 研究主題

教科グループごと

粘り強く考え よりよいものをつくりあげる 上小っ子の育成



☆この年から「研修を兼ねる研究」へ

教員の指導力向上

児童の学力向上

## 【課題】

- ・今求められている「授業改善」が不足。
- ・読解力、作文力、説明力が欠けている。
- ・全体的にぼやっとしている。

## 令和2年度 研究主題

粘り強く考え よりよいものをつくりあげる 上小っ子の育成

～国語科を通して～



「見通す力」  
「読解力・表現力」

☆国語科を窓口に  
(他教科への活用を見越して)

### 【課題】

- ・読解力に課題。
- ・評価・分析に難しさがある。